

今が見頃! 旬の花々



色鮮やかな押し花を使って、キャンドルやタイル飾り、ストラップなどを作る「押し花教室」は、毎月行われる講座のひとつ。「未就学の子どもから体験できます。男性にも人気ですよ」と講師の松崎さん。予約不要の気軽さも魅力です。

子どもにも大人気の体験講座

料金 / 800円
時間 / 10:30~随時
場所 / セミナールーム



講師はフォトフラワー認定押し花技能士の松崎晴さん

「また作りに来たい!」と語る寺下空ちゃんと紀子さん親子



レストラン「アウラ」



ガーデンショップ「ボネット」



ブルーボネットに咲くワイルドフラワーの種や苗のほか、多肉植物の鉢植えやアートフラワー、ガーデニング雑貨なども販売。花の苗は、今が最も充実している時期ですよ



ハナビシソウ

乾燥した大地に咲くハナビシソウ。花色はオレンジのほか白、ピンクも



アグロステマ

「細く美しく咲く」という意味のアグロステマは、ヨーロッパが原産



ガウラ

ガウラは6月~9月までと見頃の時期が長く、毎年花を咲かせる多年草



アリウムギガンチウム

玉ネギやニンニクの仲間のアリウムギガンチウムは直径20cmにもなる花序が特徴



ビスカリア

2~3cmほどのかわいらしい花を咲かせる。地中海が原産のビスカリア



センターハウス

1階にはレストランとガーデンショップ、2階には花と緑に関する情報を発信する花文化館があります

GW INFORMATION

ゴールデンウィーク中の5月3~6日は、開園時間を20時まで延長。幻想的にライトアップされたガーデンを散策しながら、ロマンチックなひとときを堪能できます。



「ワイルドフラワーの里」は、園内いちばん広いガーデン



「ブルーボネットを初めて訪れた寺下空ちゃん、ショップで販売しているワイルドフラワーに興味津々」
4月~5月にかけて青く可憐な花を咲かせる、シンボルフラワーのブルーボネット



巻頭特集

色とりどりの草花と潮風がお待ちかね

名古屋港ワイルドフラワーガーデン
ブルーボネットへ

春から秋にかけて、野性的で美しい草花の「開花リレー」が楽しめる「ブルーボネット」。水上バスを利用してガーデン埠頭と行き来もできる…。そんな港区屈指のシーサイドのテーマパークの魅力を紹介します。

「園内東側の案内看板前が、約2万㎡の鑑賞庭園を見渡せるビュースポットです。園内はめくめくり回って1時間から1時間半ほど。ご自宅の庭造りの参考になるガーデンも見つけられると思いますよ」と原田さん。高低差のある植物を互いに繋がるように配列させて、奥行きのない敷地にも流動的で奥深い印象を与える「ポーターガーデン」や、テーブルほどの高さにした花壇をメインに構成することで、長時間しゃがんでいることが困難な人でも植物に触れたい、香りを楽しめるようにした「テーブルガーデン」など、それぞれのガーデンごとにアイデア、工夫、伝統的な技法が詰まっています。

週末には体験教室やガーデンコンサートも開催

毎年、GW期間中とハロウィンシーズンには、ライトアップも開催。ガーデンの花や木はもちろん、「ブルーボネット」のランドマークでもあるガラス張りのサニールームなどの建物も世界のトップ照明デザイナー・石井幹子氏の手にたく美しく照らされ、昼間とはまったく違った幻想的なムードが楽しめます。また、週末や祝祭日をメインに、押し花教室や巻紙アート体験教室といった各種体験教室も。歌手や演奏家を招いて行う、ガーデンコンサート(不定期)を開催するなど、お楽しみもいろいろ。見頃の花を中心にスタンプが園内をガイドしながら、ガーデンのヒントなどを教えてくれる「ガーデンガイドツアー」も月

「園内東側の案内看板前が、約2万㎡の鑑賞庭園を見渡せるビュースポットです。園内はめくめくり回って1時間から1時間半ほど。ご自宅の庭造りの参考になるガーデンも見つけられると思いますよ」と原田さん。高低差のある植物を互いに繋がるように配列させて、奥行きのない敷地にも流動的で奥深い印象を与える「ポーターガーデン」や、テーブルほどの高さにした花壇をメインに構成することで、長時間しゃがんでいることが困難な人でも植物に触れたい、香りを楽しめるようにした「テーブルガーデン」など、それぞれのガーデンごとにアイデア、工夫、伝統的な技法が詰まっています。

名古屋港 ワイルドフラワーガーデン
ブルーボネット
港区潮見町42 TEL 052-613-1187
時間 / 9:30~17:00(12/1~12/25は~16:00)
休園日 / 月曜(祝日の場合は翌日)
海の日、12/24と12/26~翌2月末日
入園料 / 大人300円、65歳以上200円、小学生150円、6歳未満無料
P有(無料)



ブルーボネット広報の原田高志さん

「子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の人が楽しめるように」との思いから、園内にはバリアフリーに、鑑賞用ガーデンを巡る散策路には、車イスやベビーカーでも利用可能な砂利舗装を取り入れたなど、細かな配慮がされているのもこのスポットの魅力のひとつ。車イスやベビーカーのレンタルもすることもできます。さらに「ブルーボネット」では、南エリアを体験型の「コミュニティガーデン」として開放。子どもたちがのびのびと遊べる芝生の中に、シンボルツリーのけやきの木がある「ケヤキと芝生のガーデン」、農林園芸活動の体験を通じて仲間との交流もできる「里山コミュニティガーデン」、車イスに座ったままでも利用できる花壇と健康遊具を設置した「花のコミュニティガーデン」の3つのガーデンが広がっています。

2~3回ほど行われ、人気を集めています。「子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の人が楽しめるように」との思いから、園内にはバリアフリーに、鑑賞用ガーデンを巡る散策路には、車イスやベビーカーでも利用可能な砂利舗装を取り入れたなど、細かな配慮がされているのもこのスポットの魅力のひとつ。車イスやベビーカーのレンタルもすることもできます。さらに「ブルーボネット」では、南エリアを体験型の「コミュニティガーデン」として開放。子どもたちがのびのびと遊べる芝生の中に、シンボルツリーのけやきの木がある「ケヤキと芝生のガーデン」、農林園芸活動の体験を通じて仲間との交流もできる「里山コミュニティガーデン」、車イスに座ったままでも利用できる花壇と健康遊具を設置した「花のコミュニティガーデン」の3つのガーデンが広がっています。

英国風のクラシカルなセンターハウスを抜けると、そこに広がるのは、世界中の野生草花が織り成す美しい景観。「外国庭園の模倣ではなく、伝統的日本庭園でもない。新しいスタイルの自然庭園を楽しんで欲しい」。そんなコンセプトのもと、名古屋港を一望するベイエリアに2002年に誕生し、今年の4月20日で10周年を迎えるのが、この「ブルーボネット」です。

「野山と同じように様々な種類の花を混在させた、起伏のある自然風庭園には、小川のように水が流れていて、せせらぎの音も楽しめます」と、広報を務める原田高志さん。ナゴヤドーム1個半ほどの広さがある鑑賞庭園には、20種類から40種類の種子を混合して撒くことで、自然のお花畑を再現した「ワイルドフラワーの里」をはじめ、直線、左右対称、幾何学的な配植を避けて、自然の雰囲気と季節感を醸し出した「花の谷」、料理などに利用するハーブ類を集めた「ハーブガーデン」など22のガーデンが点在。イギリスのトップガーデンデザイナー、ロビン・ウィリアムス氏やジョン・ブルックス氏が創る伝統的なイングリッシュガーデンと、アメリカ環境デザイナーの第一人者ダレル・モリソン氏がデザインした日本・テキサス友好の庭など、トップデザイナーが手掛けた「モデルガーデン」もあり、バラエティ豊かです。

それぞれにこだわりを持った22のガーデンがお出迎え